

第1回 幌延町まち・ひと・しごと創生会議
幌延町地域振興（観光）計画アクションプラン検討会

日時：令和元年10月15日（火） 午後6時～午後7時30分

場所：幌延深地層研究センター国際交流施設1階多目的ホール

参加者：別紙参照

<議事概要>

1. 開会

～野々村町長より開会の挨拶

～野々村町長より各委員へ委嘱状を交付

2. 自己紹介

～参加委員による自己紹介

3. 委員長・副委員長選出

- ・事務局腹案として、委員長に一関捷治委員、副委員長に高橋秀之委員を提案（事務局）
⇒満場一致で承認。

4. 幌延町地域振興（観光）計画推進に係る今年度実施事業について【資料1】

～一関委員長が議長として進行

～事務局より資料1「令和元年度幌延町地域振興（観光）計画アクションプラン推進に関する取組」を説明
<質疑応答>

- ・幌延産の樽で熟成したワインや日本酒について、来年度以降の展開で決まっていることがあれば教えて頂きたい。（委員）
⇒今回は、試験的な取り組みとして、樽づくりからワインの熟成を行った。今後もふるさと納税の返礼品を目的とした取り組みで良いのか検討している。今後もワインの製造を検討しているが、できれば町の商店等で購入できる特産品としたい。しかし、流通や価格設定などの課題を解決する必要がある。またこれまでの試飲を通してご意見があれば、意見を踏まえ、今後の取り組みを進めたい。日本酒については田中酒造さんがにより製品化が実現し、実際に販売できるようになった。1回の樽仕込みで、約300本の日本酒ができる。今後も継続的に商品として出せると思う。（事務局）
- ・ワイン・日本酒の取組みは、町にとって様々なプラスがあると思う。ぜひ、続けて欲しい。ワイン用ぶどうの栽培も検討しているか？（委員）
⇒ワイン用ぶどうについては、池田町から寒冷地でも栽培できる品種を購入し、試験的に栽培している。今年度で3年目となり、順調に生育している。来年度も生育が順調であれば、ブドウが収穫できるようになると思う。（事務局）

5. 地域拠点・道の駅の検討状況について【資料2】

～事務局より資料2「地域拠点・道の駅の検討状況について」を説明。

<質疑応答>

- ・町外からアウトドア体験を活用し、誘客することを検討しているようだが、ターゲットとする旅行者は札

幌の方又は近隣の方など、どのような方をイメージしているか。(オブザーバー)

⇒国道を利用・通過する人は町外の方が多い。詳細なターゲットは決まっていないが、大きくは道北を周遊する旅行者や稚内を目指す旅行者となると思う。(事務局)

- ・ 町外からの旅行者で言えば、札幌等の都市圏から幌延は遠いため、何時間も移動に時間がかかる。それでも来てもらえるのか。(オブザーバー)

⇒今は道の駅自体が目的地となっているため、時間がかかる場所でも訪れる方は多い。さらに、魅力あるコンテンツを備えることによりが幌延に滞在してもらえるのではないかと。

- ・ 本件については、次回会議において腰を据えて議論したいと思う。(一関委員長)

6. その他

- ・ 本会議については夕方から夜の開催となっているが、委員の参加が減りつつある。出来るだけ多くの方が参加しやすいように、開催時間についてご意見を頂きたい。(事務局)

⇒夕方から夜の方が参加しやすい。

⇒どちらでも良い。(委員)

⇒どちらでも良い。会議開催の案内が直前になることが多いため、事前に決まるのであれば、昼でも参加できる。(委員)

⇒委員のみなさんが参加しやすい時間で問題ない。(委員)

⇒どちらでも良い。会議開催案内は出来るだけ早い方が良い。(委員)

⇒夕方から夜の方が参加しやすい。(委員)

会議を立ち上げた当初は、参加人数も多かったが、徐々に減ってきていることが残念。幌延町の将来を考える機会であり、出来るだけ多くの委員に出席し、議論して欲しい。みなさんが参加しやすいのであれば、平日の昼間でも良いと思う。(一関委員長)

- ・ 開催時間については、みなさんのご意見を踏まえ、庁内で検討させて頂く。

7. 閉会